



JAPANESE ASSOCIATION OF  
REHABILITATION NUTRITION  
ANNUAL MEETING

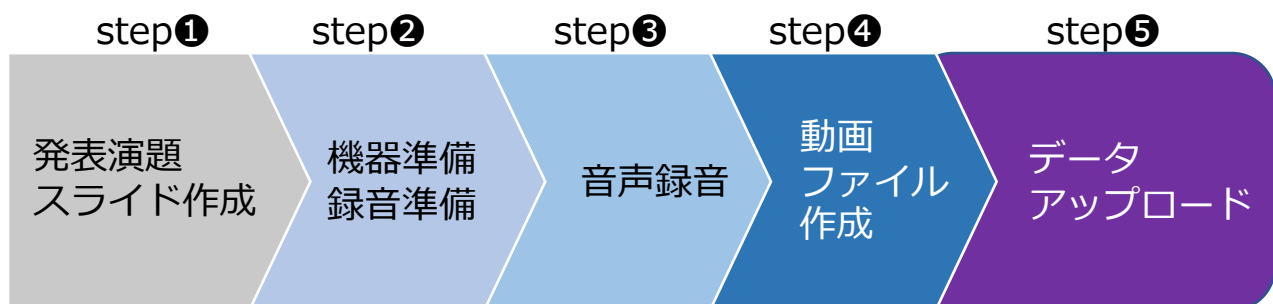
in Kumamoto  
オンライン開催

第12回日本リハビリテーション栄養学会  
学術集会 熊本大会

## PowerPoint 動画作成マニュアル

- 一般演題発表：5分
- 優秀演題発表：9分
- English Session発表：7分

# 01. 発表演題（音声付き動画）作成の流れ



## 02. 作成時の注意事項

項目	内容
入稿できる ファイル形式	MP4形式 (音声付きPowerPoint映像をMP4に変換したデータ)
作成サイズ	○推奨バージョン Windows版2016/2019/365 Mac版2019/365  ・スライドの縦横比は、ワイド16：9で作成してください。 ・動画はHD（720p）で作成してください。 ※4Kには対応していません。 ※スライドサイズは、Microsoft PowerPointの「デザイン」ページ上部の「ユーザー設定」から「スライドサイズ」をご指定ください。 ※複数スライドを一つにまとめる場合は、サイズを統一してください。
動画・音声	埋め込み形式で作成してください。
ウイルス チェック	必ず行ってください。（例：ウイルス対策ソフトウェア nortonなど）
ファイルサイズ	最大1.5GB以内で作成してください。 ※1.5GBを超える場合は運営事務局までご相談ください。
ファイル名	ファイル名は、演題番号と演者氏名を半角英数で入れてください。 ※データの変換後、拡張子が「.mp4」となっていればMP4のデータです。
発表時間	○一般演題発表：5分 ○優秀演題発表：9分 ○English Session発表：7分
入稿方法	メールで「入稿のご案内」をお送りいたします。 メールに掲載されているURLから発表演題を入稿してください。 ○入稿期間：2022年11月10日（木）～12月25日（日）

# 03. 利益相反状態の有無に関する開示

発表に際し、発表演題に関する利益相反状態の有無について開示が必要です。

下記スライド例のようにタイトルスライドに続いて、スライド2枚目にご用意ください。

※利益相反の有無にかかわらず、全ての発表者にご開示いただく必要があります。

## ①開示すべきCOI状態がない場合

**日本リハビリテーション栄養学会 利益相反開示**

**筆頭演者名：〇〇 〇〇**

本演題発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

※タイトルスライドの次に挿入してください。

## ②開示すべきCOI状態がある場合

**日本リハビリテーション栄養学会 利益相反開示**

**筆頭演者名：〇〇 〇〇**

**本演題発表に関し、開示すべき利益相反関係にある企業等：**

①株顧問：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
②保有・利益：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
③特許使用料：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
④講演料：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
⑤原稿料：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
⑥受託研究・共同研究費：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
⑦奨学寄附金	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
⑧寄附講座所属：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)
⑨贈答品等の報酬：	〇〇〇〇〇	(*「なし」の場合は、「なし」と記載)

※タイトルスライドの次に挿入してください。

※必要な情報（利益相反の該当項目と企業名）を開示してください。

# Windows共通 マイクの確認方法

# 04. マイクの確認方法

「スタート」→「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。「マイクのテスト」では試しに発声し、反応することを確認します。



# PowerPoint音声入力方法

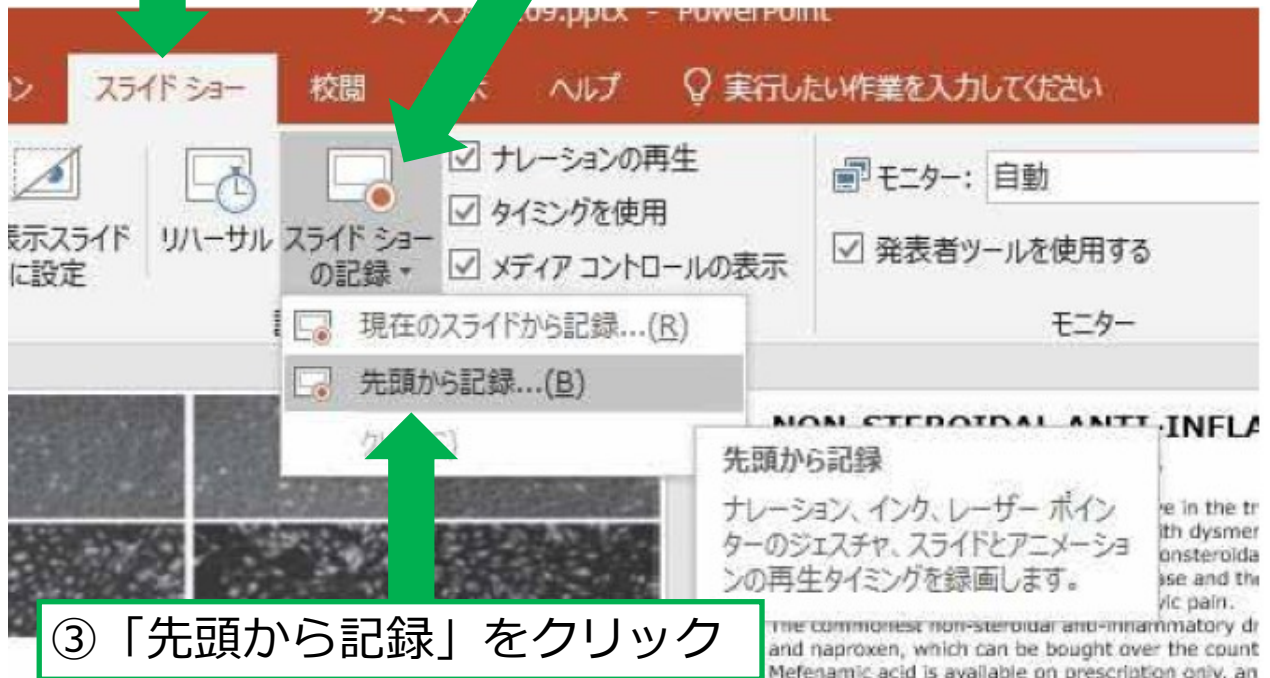
- 【Windows】 PowerPoint2019・Office365 . . . P7
- 【Windows】 PowerPoint2013・2016 . . . P12
- 【Windows】 PowerPoint2010 . . . P16
- 【Mac】 PowerPoint for Mac 2019 . . . P20

Windows

PowerPoint2019 • Office365

① 「スライドショー」タブを開く

② 「スライドショーの記録」をクリック



③ 「先頭から記録」をクリック

⑤ 「記録の開始」をクリックして録音を開始する



④ 内臓カメラが有効な場合、子画面でカメラ映像も記録されてしまう為、カメラはOFFにしてください。



⑥スライドを進めながらマイクに向かってナレーションを録音  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声が届いてしまう  
ので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)

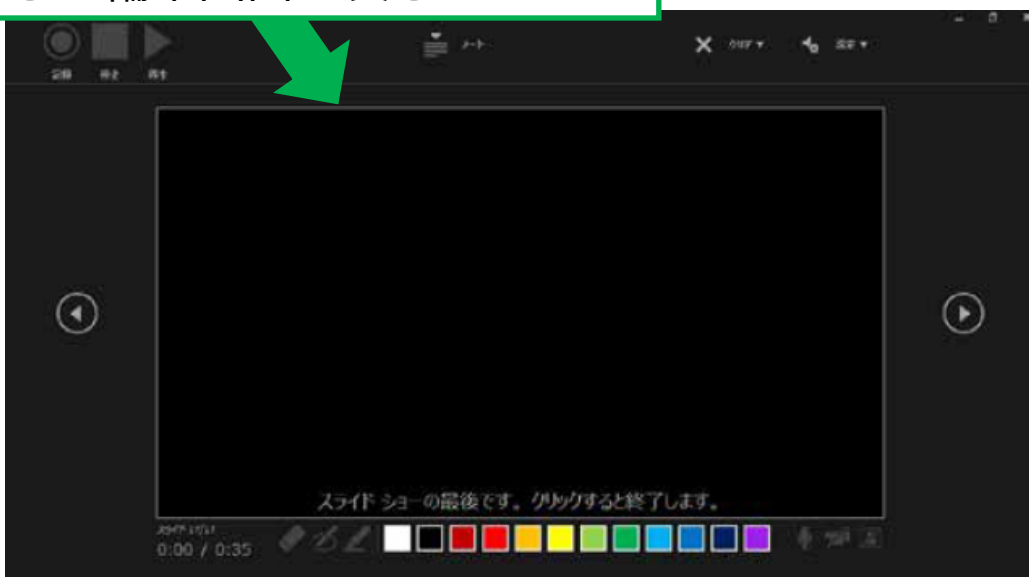
「記録の一時停止」をクリックすると  
記録が一時停止となる。

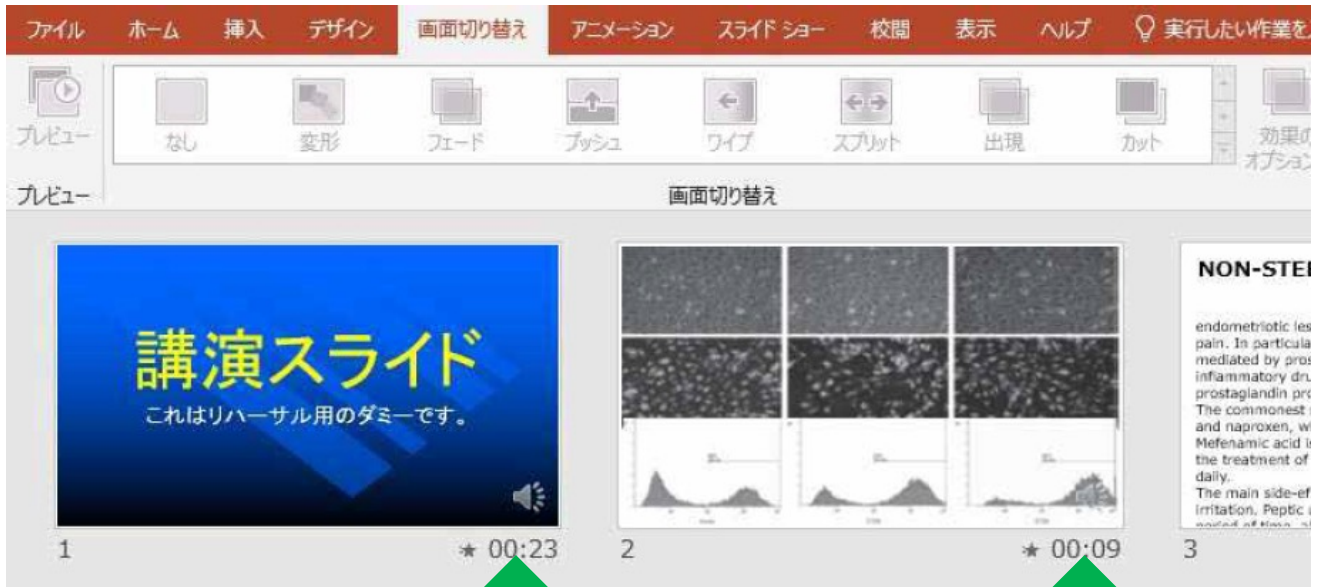


「記録の停止」をクリックするとそこまでの記録が残る。

⑦下記画面まで進めると自動的に  
録音が停止しスライドをもう1枚  
進めると編集画面に戻る

矢印もしくはスライド上を  
クリックすると次に進む

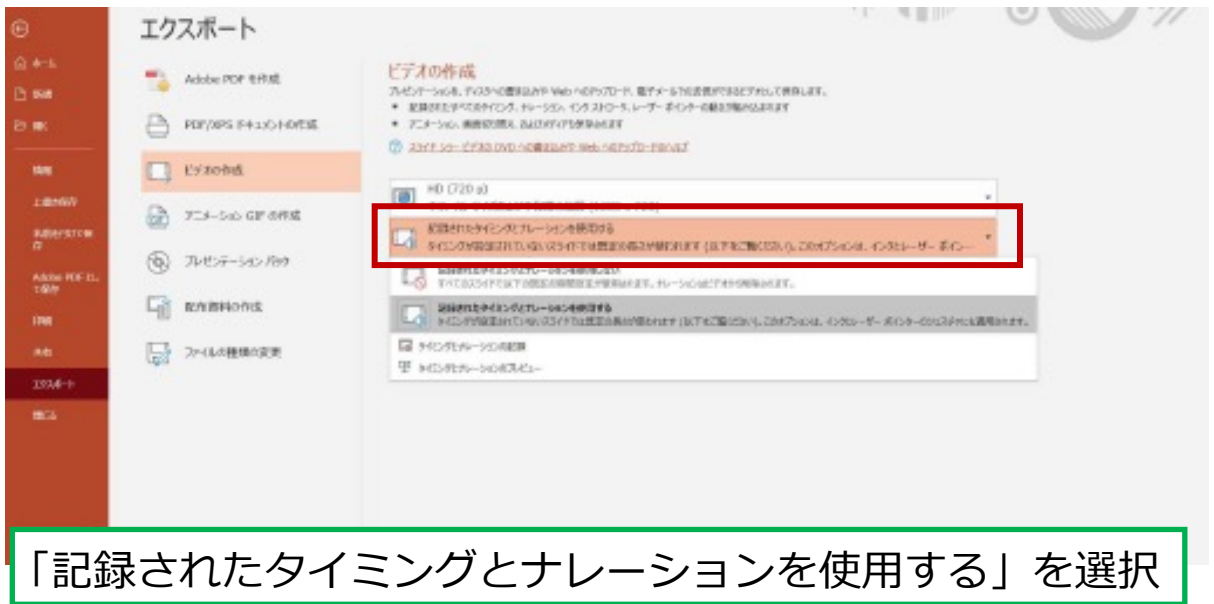




- ⑧スライドショーを最後まで進めて終了した後、「表示」タブ  
→「スライダー一覧」を選択し、スライダー一覧表示にして、  
各スライドの右下に設定された時間が表記されていることを  
確認した上でPowerPointを保存する  
(新しく名前をつけて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認する  
問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行う

⑨スライドを確認して問題なければ、書き出しを行う  
「ファイル」→「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。

ファイル名を指定し、ファイル形式では [MP4形式] を選択します。

右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーからHD画質 (1280×720) の動画を作成するのに約20分かかります。

Windows

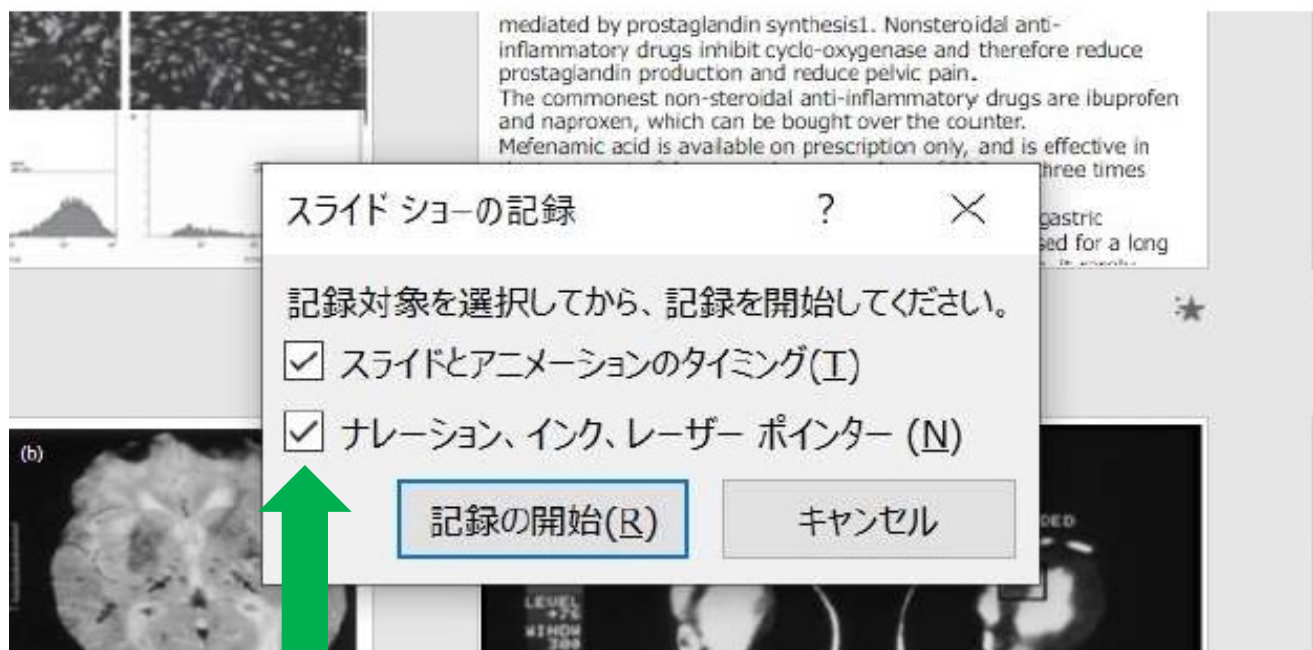
PowerPoint2013 • 2016

① 「スライドショー」タブをひらく

② 「スライドショーの記録」をクリック



③ 「先頭から録音を開始」をクリック



④ 「スライドとアニメーションのタイミング」、  
「ナレーション、インク、レーザーポインター」の両方に  
チェックが入っていることを確認し「記録の開始」をクリック  
して録音を開始する

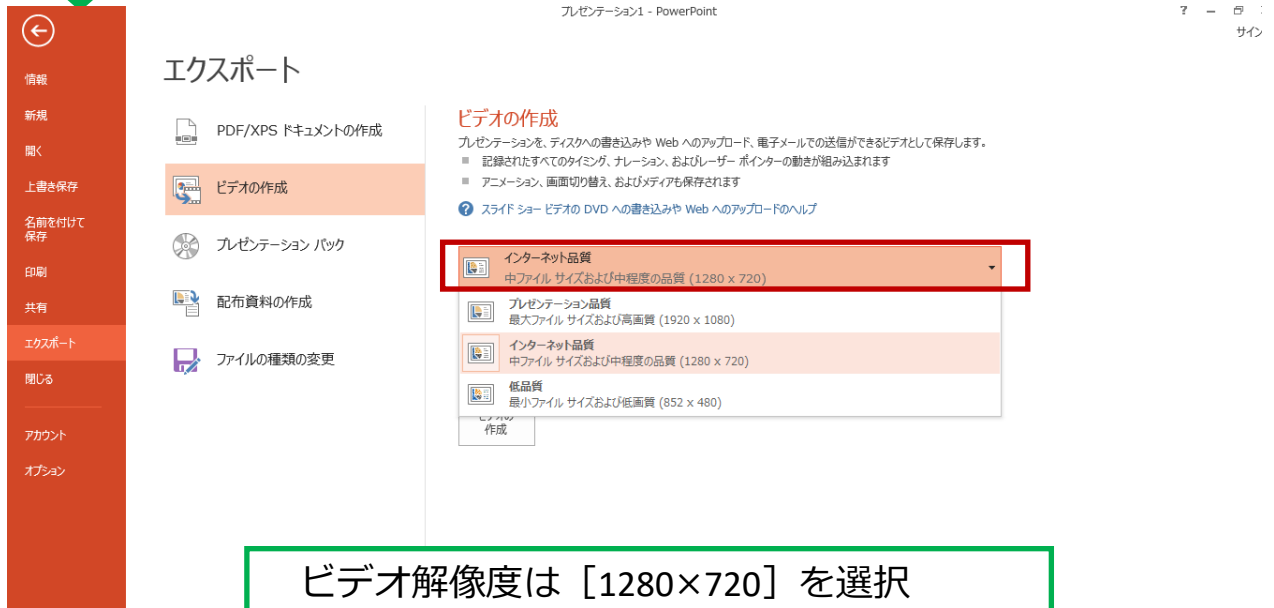
- ⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



- ⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たら PowerPointを保存する (新しく名前を付けて保存)

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等に問題がないか確認する  
問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行う

⑦スライドを確認して問題なければ書き出しを行う  
「ファイル」「エクスポート」→「保存と送信」→「ビデオの作成」



The screenshot shows the PowerPoint interface with the 'Export' menu open. The 'Video Creation' option is highlighted. A red box highlights the 'Internet Quality' option in the dropdown menu, which is set to 'Medium File Size and Medium Quality (1280 x 720)'. The text 'ビデオ解像度は [1280×720] を選択' is overlaid on the image.

プレゼンテーション1 - PowerPoint

情報  
新規  
開く  
上書き保存  
名前を付けて保存  
印刷  
共有  
エクスポート  
閉じる  
アカウント  
オプション

エクスポート

PDF/XPS ドキュメントの作成

ビデオの作成

プレゼンテーション バック

配布資料の作成

ファイルの種類の変更

ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ

インターネット品質  
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

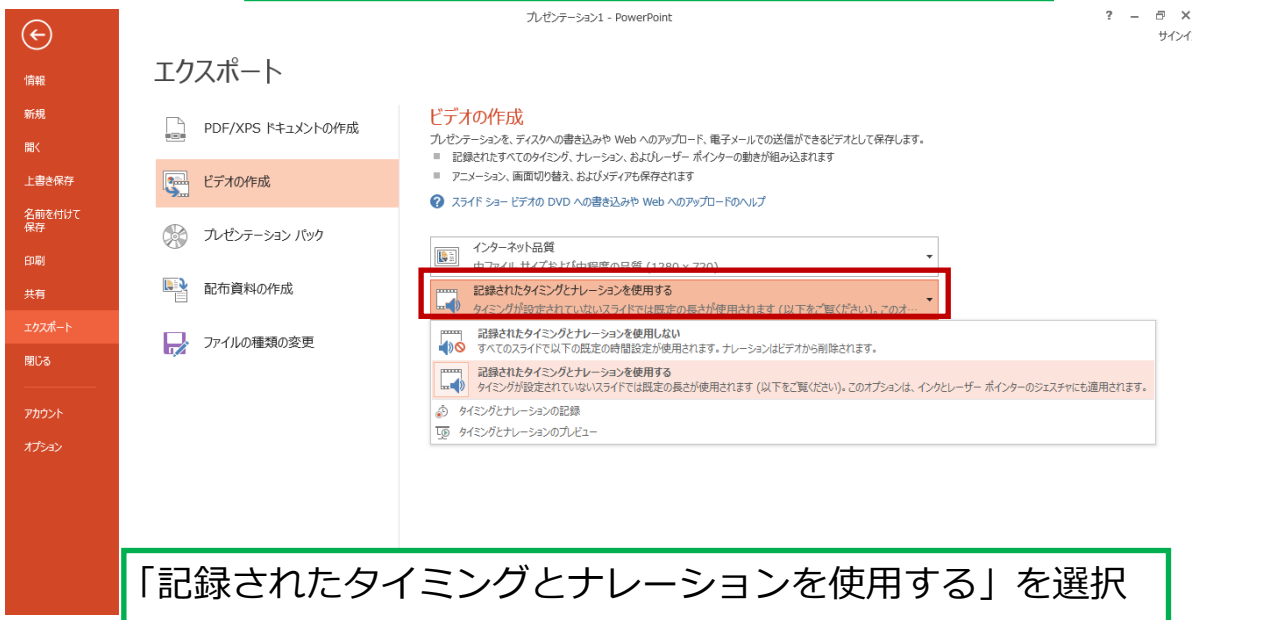
プレゼンテーション品質  
最大ファイル サイズおよび高画質 (1920 x 1080)

インターネット品質  
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

低品質  
最小ファイル サイズおよび低画質 (852 x 480)

作成

ビデオ解像度は [1280×720] を選択



The screenshot shows the 'Video Creation' options in PowerPoint. A red box highlights the option 'Use recorded timing and narration'. The text '「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択' is overlaid on the image.

プレゼンテーション1 - PowerPoint

情報  
新規  
開く  
上書き保存  
名前を付けて保存  
印刷  
共有  
エクスポート  
閉じる  
アカウント  
オプション

エクスポート

PDF/XPS ドキュメントの作成

ビデオの作成

プレゼンテーション バック

配布資料の作成

ファイルの種類の変更

ビデオの作成

プレゼンテーションを、ディスクへの書き込みや Web へのアップロード、電子メールでの送信ができるビデオとして保存します。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

スライドショー ビデオの DVD への書き込みや Web へのアップロードのヘルプ

インターネット品質  
中ファイル サイズおよび中程度の品質 (1280 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使用されます。(以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー ポインターのジェスチャにも適用されます。

記録されたタイミングとナレーションを使用しない  
すべてのスライドで以下の既定の時間設定が使用されます。ナレーションはビデオから削除されます。

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは既定の長さが使用されます。(以下をご覧ください)。このオプションは、インクとレーザー ポインターのジェスチャにも適用されます。

タイミングとナレーションの記録

タイミングとナレーションのプレビュー

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。

ファイル名を指定し、ファイル形式では、[MP4形式]を選択します。  
右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーからHD画質（1280×720）の動画を作成するのに約20分かかります。

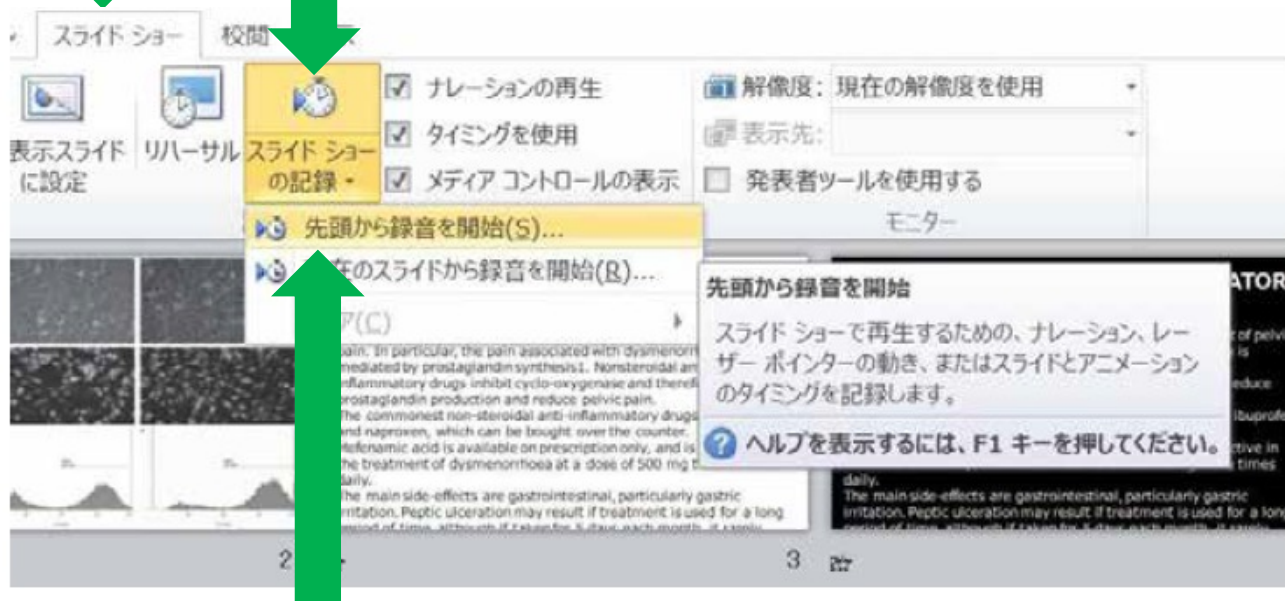
Windows

PowerPoint2010

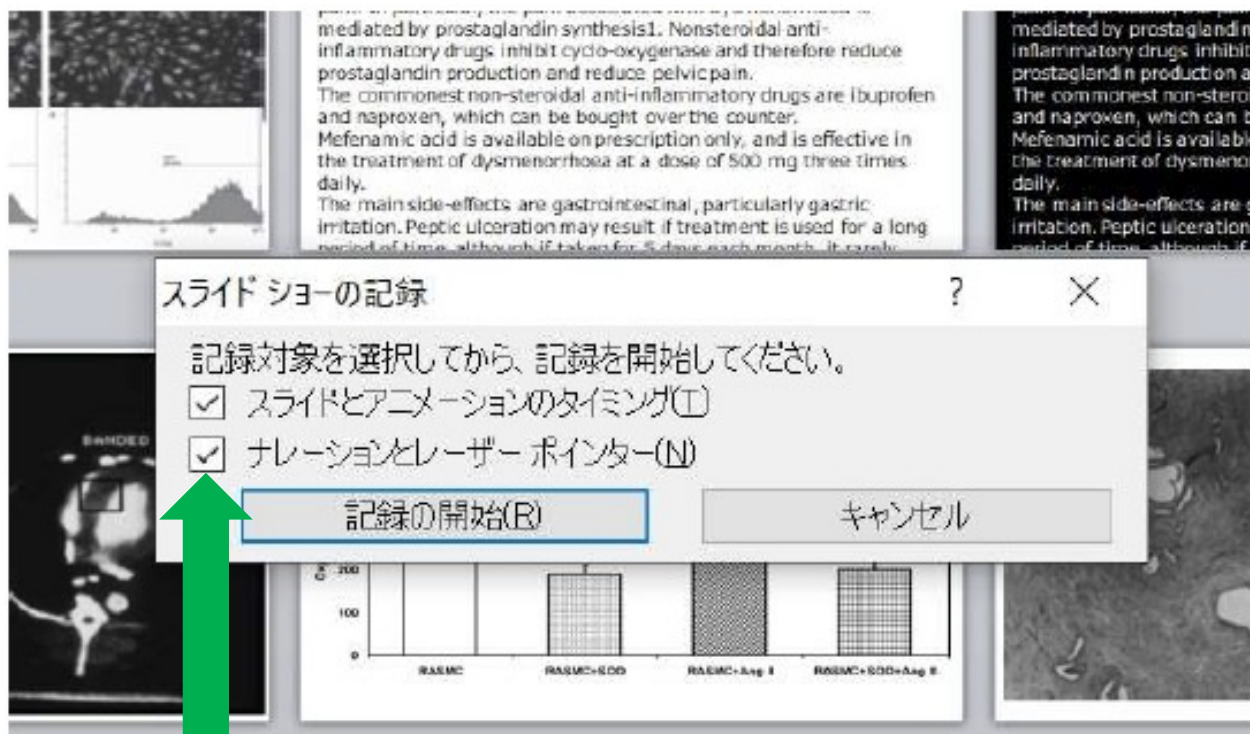


① 「スライドショー」タブをひらく

② 「スライドショーの記録」をクリック



③ 「先頭から録音を開始」をクリック



④ 「スライドとアニメーションのタイミング」「ナレーションとレーザーポインター」の両方にチェックが入っていることを確認し「記録の開始」をクリックして録音を開始する

- ⑤左上の「記録中」を確認し、プレゼンテーションを進める  
(タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいてから話し始めてください)



- ⑥スライドショーを最後まで進めて終了した後、スライド一覧表示にして、各スライドの右下に時間が表記されていることを確認出来たらPowerPointを保存する（新しく名前を付けて保存）

再度ファイルを開き、スライドショーにして、音声やスライドのタイミング等に問題がないか確認する  
問題があった場合、該当箇所から再度、記録を行う

⑦スライドを確認して問題なければ書き出しを行う

「ファイル」 「エクスポート」 → 「保存と送信」 → 「ビデオの作成」



ビデオ解像度は [1280×720] を選択



「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択

最後に、「ビデオの作成」をクリックすると、すぐに「名前を付けて保存」というウィンドウが現れます。

ファイル名を指定し、ファイル形式では [MP4形式] を選択します。

右下の「保存」をクリックすると、動画が作成され自動的に保存されます。

動画作成の進捗は、右下に表示されます。

※20分のスライドショーからHD画質 (1280×720) の動画を作成するのに約20分かかります。

Mac

PowerPoint for Mac 2019

# マイクの確認方法

「システム環境設定」→「サウンド」→「入力」をクリックし、入力デバイスが登録されていることを確認します。

「選択した機器の設定」では試しに発声し、反応することを確認します。

①システム環境設定

②サウンド

③入力

名前	種類
内蔵マイク	内蔵

サウンドを入力する装置を選択:

入力音量: [Slider]

入力レベル: [Level Meter]

試しに発声し、「入力レベル」が反応すればマイクが機能している

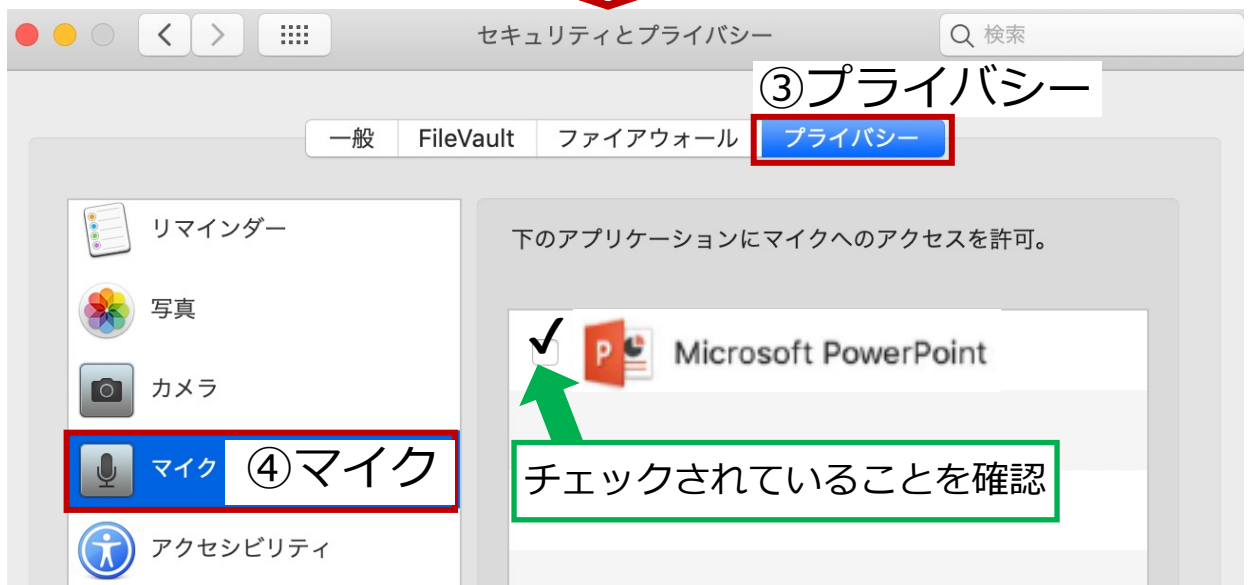
# PowerPointでのマイク入力の確認

「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「マイク」を選択し、PowerPointの項にチェックが入っていることを確認します。

## ①システム環境設定



## ②セキュリティとプライバシー

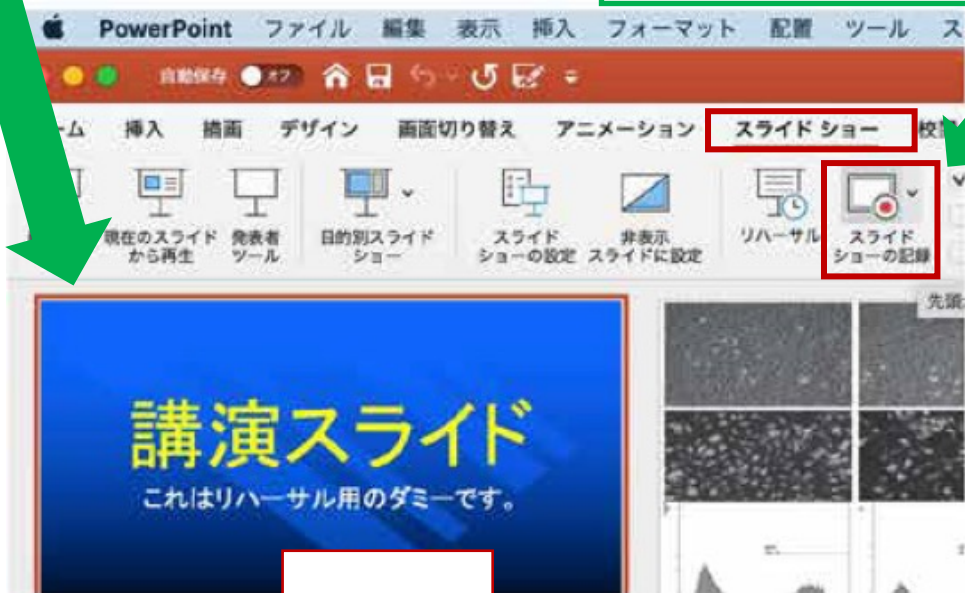


# PowerPointでの録音の準備

PowerPointでスライドを開き、1枚目のスライドが選択されている事を確認します。「スライドショー」→「スライドショーの記録」をクリックすると、自動的に、画面がプレゼンの発表者ビューに切り替わり録音が始まります。

1枚目が選択されている状態であることを確認

カーソルを合わせた時に「先頭から録音を開始」という注釈が現れる場合がある



クリックすると画面が切り替わり録音が始まる



# スライドショーの実施

通常通り、スライドショーを行ってください。

ペンやポインター等も使えますが、最終的に動画で記録されるのは、スライドを送るタイミングと音声のみです。

タイトルスライド、及びスライドの切り替え時、音声途切れてしまうので、スライド表示後、一息おいて話し始めてください。

また、前のスライドに戻ると、戻ったスライドの録音を上書きされますので注意してください。

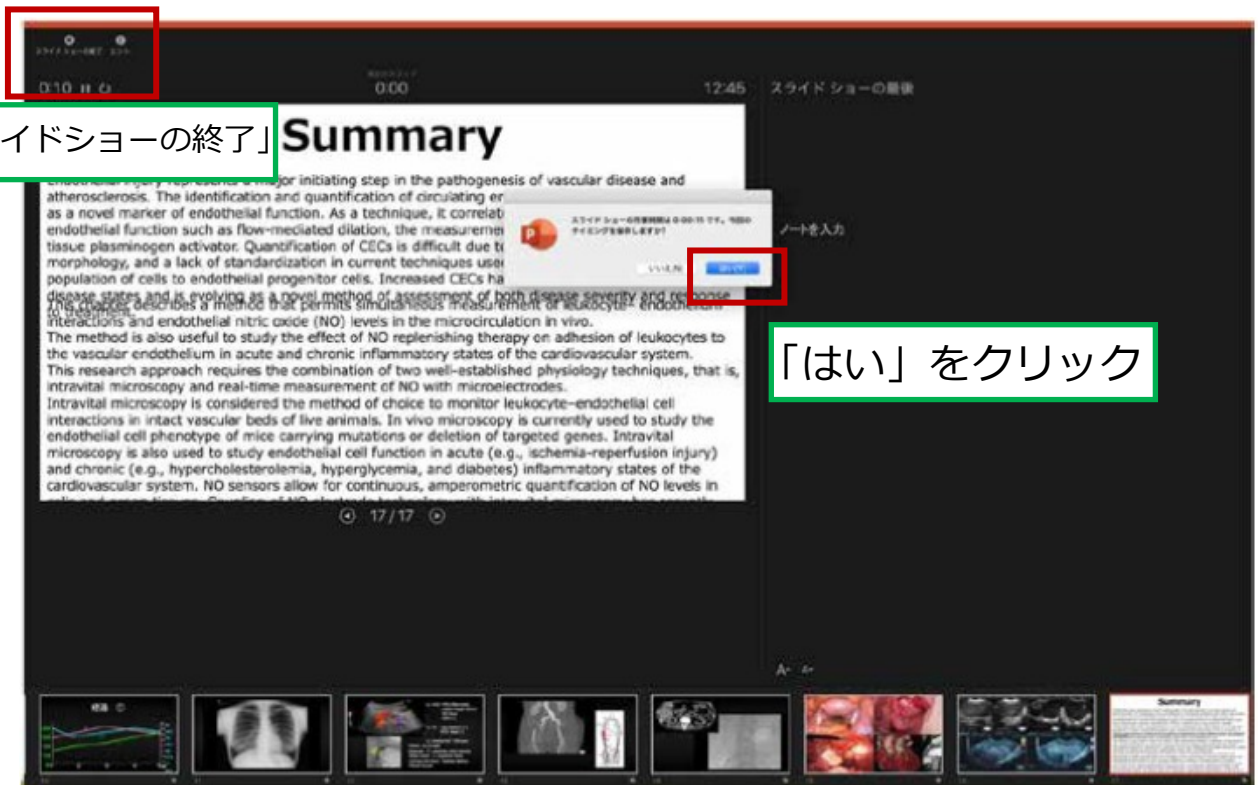


メニューから、ペン、蛍光ペン、ポインターを使用をしても、記録されません。



# スライドショーの終了

スライドショーを終え、左上の「スライドショーの終了」をクリックすると「今回のタイミングを保存しますか？」という質問が現れるので「はい」を選択します。



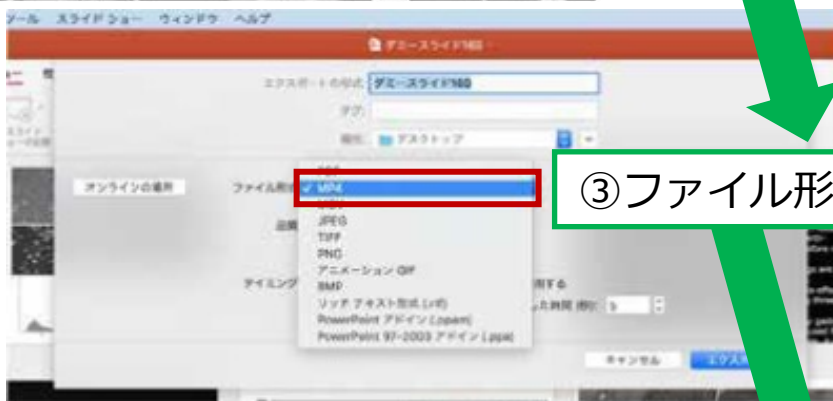
# 保存先の選択

「ファイル」→「エクスポート」をクリックすると、ウィンドウが現れます。ファイル名、保存先を選択してください。ファイル形式で「MP4形式」を選択すると、詳細が設定できるようになります。

①ファイル



②エクスポート



③ファイル形式：MP4

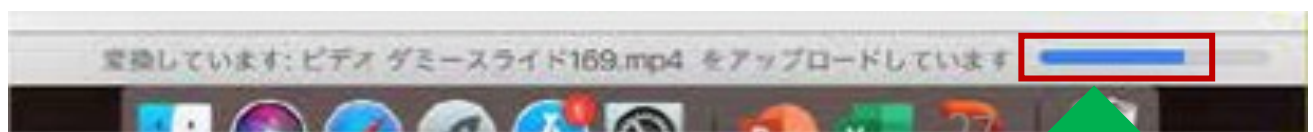
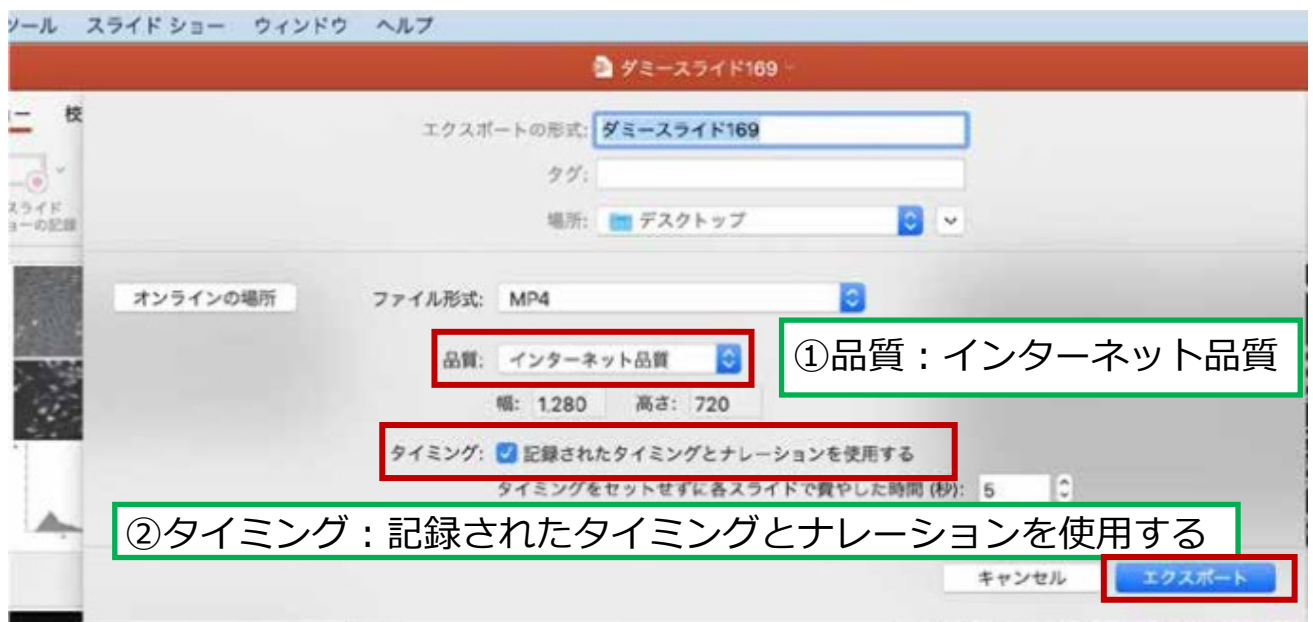


# 品質の選択、動画作成と保存

品質は「インターネット品質」を選択。

「記録されたタイミングとナレーションを使用する」にチェックがついていることを確認します。

「エクスポート」をクリックすると、動画が作成され、自動的に保存されます。



動画作成の進捗は、右下に表示される20分のスライドショーからHD画質（1270×720）の動画を作成するのに約10分かかる